

ピロリ菌の有無・胃粘膜の委縮度調査の「ABC検診」の導入について

菅野 恭子



〔質問〕我が国の胃がんの死亡者数は、国立がん研究センターによれば、2014年では、4万7千903人であり、がんの死亡順位では、男性2位、女性3位と非常に高い。

胃がんの主な原因は、「ヘリコバクターピロリ菌」(ピロリ菌)である。国内の感染者数は、約3千500万人で、約80%を50歳以上が占めている。

する自治体が増えていく。

本市でも、胃がん発生の予防・早期発見につながる効果的な取り組みである「ABC検診」の導入をぜひ検討すべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】特定検診時にピロリ菌の「ABC検診」は可能であるが、この検診は、胃がんのリスク調査である。陽性の場合、除菌のために内視鏡による精密検査が必要となるため、医師会等との調整が必要となる。

先進地事例を参考に検討していきたい。  
◎市営住宅の階段手すりの設置について

〔質問〕市営住宅には、高齢者や子育て世帯などが入居しているが、

共用部分の階段に手すりが設置されていないところが多くある。

白石市営住宅管理条例施行規則には、「市営住宅の通行の用に供する共用部分には、高齢者等の移動の利便性及び安全性の確保を適切に図るための措置が講じられていなければならない。」とある。

「笑顔あふれる白石」の構築は、大切な住民の「安全・安心」からである。

そこで、市営住宅階段への手すり設置を早急に検討すべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】階段の昇降は、日常生活において必要不可欠なことであり、入居者の住環境向上やバリアフリー化を推進するため、階段に手すりが設置されていない住宅については、設置へ向けて検討していきたい。

◎白石和紙について

平成29年度施政方針について

松野 久郎



〔質問〕児童生徒の教育について、家庭における教育力向上に向けた出前講座の具体的な取り組み内容を伺う。

〔答弁〕【市長】近年、家族構成の変化や働き家庭の増加、育児に十分な時間を取ることができない雇用環境など、さまざまな要因で家庭教育の低下が懸念されている。

このような現状から、白石市家庭教育支援チームの協力を得ながら、小学校では、入学前の説明会等で親への学びの講座を開催する。中学校では、3年生を対象とした親への感謝の心と命の大切さを学ぶ授業を予定している。

〔質問〕生活困窮者の子どもを対象に、週2回程度の学習支援を行うとあるが、その具体的な内容と実施体制について伺う。

〔答弁〕【市長】児童に対する学習支援をはじめ、進学相談、生活相談、高校進学者の中途防止に関する支援等を行う予定である。

実施体制については、学習支援に実績のあるNPO法人に委託したいと考えている。

〔質問〕有害鳥獣被害防止対策のイノシシ捕獲にかかる駆除費について、平成29年度の見込み額を伺う。

〔答弁〕【農林課長】平成28年度と同様、出役費として日当計算で、1頭当たり平均1万5千円の支給、解体場で

の処理は平均5千円の支給と見込んでいる。

〔質問〕年4回の駆除費支給について、期間を短縮して支払うことができないのか伺う。

〔答弁〕【市長】年4回の支払いを短くできるように、前向きに検討していきたい。

〔質問〕スマートインターチェンジや複合型道の駅構想、庁舎建設等の時期について伺う。

〔答弁〕【市長】任期4年の中で課題をクリアしながら、実現に向けた方向性を見いだしていきたい。

〔質問〕市政誕生を記念して公募によりつくられた「白石市民歌」の活用について伺う。

〔答弁〕【市長】多くの市民が歌い、郷土愛を育み、次世代へ歌い継がれるように、市の行事等においても、できる限りの活用を図ってきたい。